

電制機関紙

とらい

平成 28 年 年始号

発行所  
株式会社 電 制  
広報室〒 067-0051  
江別市工業町 8 番地の 13  
TEL(011)380-2101  
FAX(011)380-2103  
<http://www.dencom.co.jp>

# DENCOM

DENSEI COMMUNICATION Inc.

## 年 頭 の ご 挨拶

代表取締役 田上 寛



新年明けましておめでとうございます。

2016 年が始まり、皆様それぞれに新たな抱負と希望を持って新年を迎えられたことと思います。当社もお陰様で穏やかに新年を迎えることができました。まずはご支援ご協力頂いている皆様に感謝申し上げます。

昨年は中国の景気減速による世界経済への影響や南沙諸島埋め立て問題、中国主導のアジアインフラ投資銀行 AIIB 創設の動きなど、国際社会に影響を与える中国関連ニュースばかりが目立ち、その反面、オバマ

大統領率いる米国が影を潜めた年でもありました。今後も暫く、この 2 国による神経戦が続き、世界経済そして日本経済に影響を与えそうです。また、中国関連ニュースの他にも、信頼や企業倫理に関わる大変ショッキングな出来事が国内外でありました。

国外では、国際的な一流企業フォルクスワーゲン社による排ガス規制の不正問題、そして国内では旭化成建材の地盤調査データ改ざんの不正問題と、大変大きな問題がほぼ同じ時期に発覚しました。このどちらも、一流ブランド企業を信頼していた消費者心理を裏切る大きな事件であり、言葉ありません。

この事件から思うことは、何かをきっかけに「お客様のための仕事」であることを忘れ「自己都合での仕事」に傾倒する心の隙の怖さです。常に「お客様が喜ぶように」という真摯な気持ちでいれば不正の引き金を引くこともないでしょう。

さて、ここからは電制社員の皆さんに向けてお話し致します。

私たちの経営環境はここ数年で急

激な勢いで変化しており、更にまた大きく変わろうとしています。この現実を踏まえて社員の皆さんには 2016 年最初の作業として、「電制のあるべき姿」について再度考えて頂きたいと思います。

当社社員心得の締め括りに『信頼される電制であることを基本とし、期待される電制であれ』とありますが、その姿を実現するにはあと少し努力が必要に思います。

そこで、皆さんには「技術標準と技術革新」と「信頼される企業と期待される企業」という二組の対比キーワードを考えて頂きます。最初のキーワードを少々乱暴に解釈すると以下になります。

- ・**技術標準**重視のモノづくりは、標準通りに製品化するので品質が安定し信頼度は十分。しかし、感動がない。
- ・**技術革新**重視のモノづくりは、未だ見ぬ新技術製品につき完成が楽しみで期待が高まり、驚きや感動がある。しかし、使用実績が無く品質的信頼には時間を要す。

この解釈を踏まえ、もう一方のキーワード「信頼される企業と期待される企業」を整理すると、こうなります。

- ・信頼感を生む「技術標準」を大切にすると「**信頼される企業**」となる。
- ・期待感を生む「技術革新」を大切にすると「**期待される企業**」となる。

つまり、信頼され期待される企業となるためには、技術標準を構築しつつ技術革新を徹底的に推し進める必要があるということです。現在の電制はどうでしょうか。技術標準の構築に不備はないでしょうか。技術標準があることに満足して技術革新活動を疎かにしていないでしょうか。

今年はここを総点検して、あるべき姿を完成させましょう。

最後になりますが、今年も電制は社員一丸となって「多くの人達に感動を！」を胸に、元気に活動してまいります。今年もまた一年、皆様のご支援ご協力そしてご指導のほど宜しくお願い致します。



## 新技術搭載型の遠方監視制御装置完成～初号機の納入を終えて～

この度、当社が新機種として開発した遠方監視制御装置（DTC-6000）をご紹介します。

当社の遠方監視制御装置は、平成元年開発の CDT 方式機種の出荷に始まり、現行の HDLC 方式機種（DTC-5000）まで、累計 200 セット程の出荷となり各所でご利用頂いております。

現行機種 DTC-5000 の販売開始から 10 年を経過した現在、「電子回路技術の革新」「ソフトウェア技術の革

新」更には「電子部品の生産終了までの期間サイクルを短縮化」が顕著となり、これら環境の変化を踏まえると、最新技術・新リソースの新たな開発を急ぐことが必然となり、この度の機種 DTC-6000 の開発に至りました。

DTC-6000 の主な特徴は次の通りです。

①盤内ネットワーク拡充（省配線化）：表示入力用の端子台を、直接盤内ネットワークへ接続し、表示点

数分のワイヤ接続を削減しました。盤内ネットワークは、オープン・フィールド・ネットワークの 1 つである HLS（Hi-Speed Link System）を採用しています。

②装置収容能力の向上：例として 3TL/3BANK 変電所への N 型適用の場合、現行機種は基本架+拡張架の 2 面必要でしたが、新型は基本架の 1 面のみで構成が可能です。

③不揮発メモリへの動作ログ保存による故障探究の強化：RAS 情報および SOE 情報を不揮発性メモリに保存することにより、電源活殺後もデータを利用可能としました。

④HDL（ハードウェア記述言語）の採用：FPGA の大規模化に伴い、HDL を採用し、設計期間の短縮、生産性・保守性の向上を実現しました。

本装置第 1 号機は、昨年 10 月に



【新型遠方監視制御装置 DTC-6000】

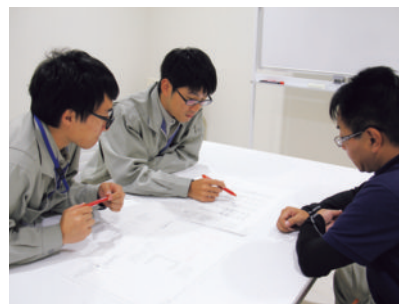
北海道電力株式会社札幌中央変電所様へ納入させて頂きました。今後とも、技術力と品質向上に励み努力してまいります。

最後になりますが、第 1 号機納入に際し、北海道電力株式会社様の皆様の多大なる御指導、御協力を頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

### 再生可能エネルギーの普及とともに ～潮流調整システムを開発～

太陽光・風力に代表される再生可能エネルギーの普及が進む中、一方で発電設備が連系される送電線では、逆流増加に伴う過負荷状態の発生が懸念されているところです。

北海道電力株式会社様では、このような送電線への発電設備連系を可能とすべく、送電線の潮流状態を監視して発電事業者側に対し発電停止・発電許容の制御を行うための潮流調整システムの設置を進めており、この度弊社では北海道電力株式会社様の変電所 2 か所に設置される親局装置を受注致しました。



【技術打ち合わせの様子】

本システムは変電所に設置される親局装置と、発電事業者側に設置される子局群から構成されています。

今年 2 月の形式認定・現地搬入に向け、現在鋭意機能評価試験を実施しているところです。

### 体内時計調節器『ルーチェグラス』を今春発売！

睡眠の悩みを解消したい方のための体内時計調節器『ルーチェグラス』がいよいよ今春に発売となります。

ルーチェグラスは、電制と室蘭工業大学との共同研究で開発した高照

度光照射型のウェアラブル体内時計調節器です。夜勤や生活習慣などで体内時計のリズムが乱れた方の睡眠時間のズレ改善や、眠気解消の効果があります。

体内時計の乱れを調節する代表的な方法は、光照射療法と薬物投与ですが、国内における光照射装置は、2 時間程の光照射でメラトニン分泌の抑制効果を発揮する据置型が主流です。しかし、ルーチェグラスは、国内初のウェアラブル型で 30 分の光照射で効果を発揮します。睡眠に関する悩みをお持ちの方はぜひ一度、お試し頂きたいと思います。



【装着イメージ図】

#### メラトニンとは？

メラトニンは、私たちを自然な眠りに導いてくれるホルモンです。「睡眠ホルモン」とも呼ばれています。朝に日光を浴びることで分泌が少なくなり、夜にかけて分泌量が増えていくことで私たちは眠くなります。

このメラトニンは強い光の下では分泌されにくい特徴があり、夜に強

い光を浴びてしまうと眠れなくなり、朝も起きられない、といった症状がでたりします。

夜に眠くなるようにするには、朝に日光、または、高照度の光を浴びてメラトニンの分泌を抑えることが重要になります。

### 札幌中央変電所 再設試験業務 受注

元請の北海道タツワ電気株式会社様より、北海道電力札幌中央変電所再設工事に関する試験業務を受注致しました。平成 29 年 2 月の竣工に向けて、各設備に対し、細心の注意を払い試験業務を行っております。



【試験風景】

### ● 展示会出展報告 ●

- ・第 29 回北海道技術・ビジネス交流会
- ・HOSPEX Japan 2015



【展示会風景】

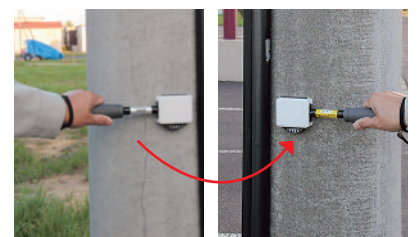
「ルーチェグラス」、「ユアトーン II シリーズ」、「SB テスター II」、「保護継電器盤」など製品の実機展示を致しました。どちらの展示会も来場者に触って頂きながら説明を行い、当社や当社製品を知って頂く良い機会となりました。

### SB テスター II 用両面着磁器 発売開始

コンクリート柱内部の鉄筋を磁化させ、極性変化から、鉄筋の破断箇所を特定する SB テスター II 用の両面着磁器を昨年の 8 月より発売開始しました。コンクリート柱に中継箱やケーブル、装柱金物などがある場合、着磁面が片面しかない着磁器では作業しにくいという御意見がありました。今回発売を開始した両面着磁器は、表裏に着磁面を設けたことにより、左右両方向からの着磁が可能となり、作業時間の短縮を図ることができるようになりました。また、材質の見直しで 140g の軽量化を実現し、プレートが摩耗した際の交換も工具などを使わず行うことができ

る機構とし、作業者の負担軽減と迅速な作業に対応しました。

本両面着磁器はユーザー様の声を反映したもので、今後も使い勝手の良い製品づくりを続けてまいります。



【持ち替えての使用が可能】

### 編集後記

今回、一部の記事の背景に色をつけてみました。背景に色があると紙面も明るくなりますね。〈中川〉